

# いっぱん質問

# ここが聞きたい 市政課題で活発な論戦

平成30年市議会第4回定例会の一般質問は、12月19～21日の3日間行われ、13人の議員が登壇し、市政全般にわたり、活発な議論が交わされました。その要旨を質問順に紹介します。



魚市場の「セリ」



志田嘉功 議員

## 問 市長の市政目標について

### 答 持続可能なまちづくりの推進

を具体的に伺う。

**問** 復興計画を2年残す中で、市政課題を総点検し、新たなまちづくりの具現化のための市政目標

**答** 市長 人口減少が当面続く状況下の市政においては、「復興の総仕上げ」に向けた、残された課題の解決に資する取組と、次世代の担い手確保や産業振興による「地域力」を培う取組の連動による、持続可能なまちづくりを推進することが肝

要と考えている。

今後の市政運営に2つの目標を掲げた。1点目は、「復興の総仕上げの推進と、高齢化・人口減少に対応する地域力の向上を図る」。2点目は、「地域産業を活性化して市民所得の向上を図り、少子化に歯止めをかける」。

**問** 漁業制度の見直しは70年ぶりに行われ、今後水産庁が具体的にどのよ

## 水産改革関連法は

うな指針を示すのか、漁業権行使のあり方は、将来的に漁業協同組合の存在にも大きく影響を与えると考えるが見解を伺う。

**答** 部長 国では、養殖分野などに民間企業の参入を促すことで、後継者不足が深刻な漁業の成長産業化を進め、水産物の安定供給に繋げたいとの意向を示している。現時点での影響は、ほとんどないと捉えており、今後の動向を注視していきたい。

